

令和4年度 市岡東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	理科	国語	数学	理科
3 年	学校	81	65	53	50	2.2	8.2	1.2
	大阪市	—	66	50	46	5.5	12.2	4.4
4月19日	全国	—	69.0	51.4	49.3	4.3	10.8	3.4

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	77	54.1	60.6	58.5	64.2	56.1	7.9	1.6	7.6	2.4	4.3
	大阪市	—	53.4	54.7	54.9	55.8	53.7	11.9	4.3	9.4	5.3	6.8
9月6日	大阪府	—	53.8	55.4	56.0	55.9	54.2	12.1	4.6	9.6	5.8	7.1

※ 3年生の理科はC問題を選択

令和4年度 市岡東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

平均正答率で見ると、全国と比較して国語で4ポイント下回ったが、数学で1.6ポイント、理科で0.7ポイント上回った。無回答率は、国語・数学・理科のいずれも全国平均より2ポイント以上小さくなっている。

- ・「国語」は、全ての領域において全国平均より下回ったが、「情報の扱い方に関する事項」・「書くこと」の領域において、大阪市平均より若干上回った。
- ・「数学」は、「数と式」の領域において全国平均より2.4ポイント下回っており、計算する力に課題がある。他の領域については、全国平均を上回っている。
- ・「理科」は、「生命」の領域において全国平均より6.3ポイント下回っており特に課題がみられる。他の領域は「生命」ほど課題は見られなかった。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

全教科で大阪府の平均点を上回った。

【今後に向けて】

- ・新学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に取り組んでおり、生徒質問紙の質問内容にある「話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか」の項目で、肯定的な回答が全国平均を2.7ポイント上回っていたので、自分の考えをまとめる力をさらに伸ばしていきたい。
- ・生徒質問紙より、多くの生徒は、国語や数学の勉強が好きだ、授業の内容はよくわかると前向きにとらえている。一方で、家庭学習の時間が全国平均よりも不足していることが見えているので、自主的に継続して学ぶ力の育成にも取り組み、基礎学力の底上げを目指していきたい。

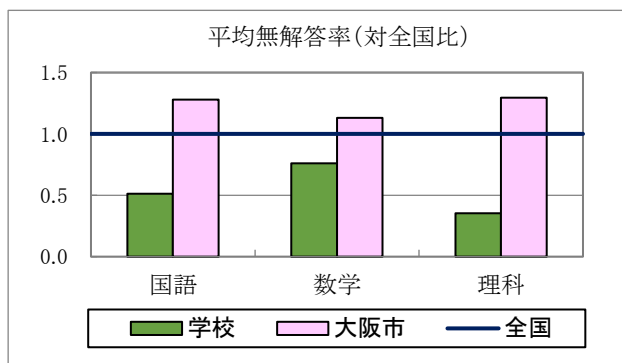
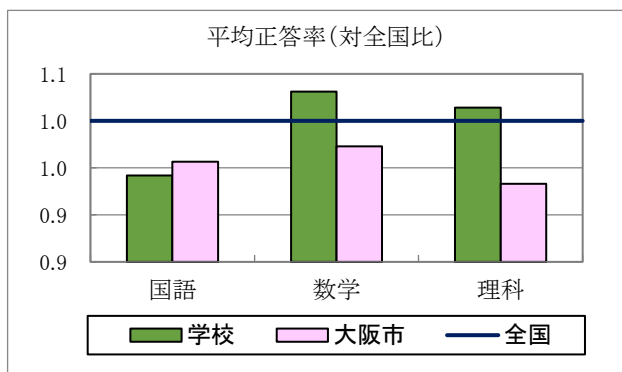
令和4年度 市岡東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	65	53	50
大阪市	66	50	46
全国	69.0	51.4	49.3

	平均無解答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	2.2	8.2	1.2
大阪市	5.5	12.2	4.4
全国	4.3	10.8	3.4

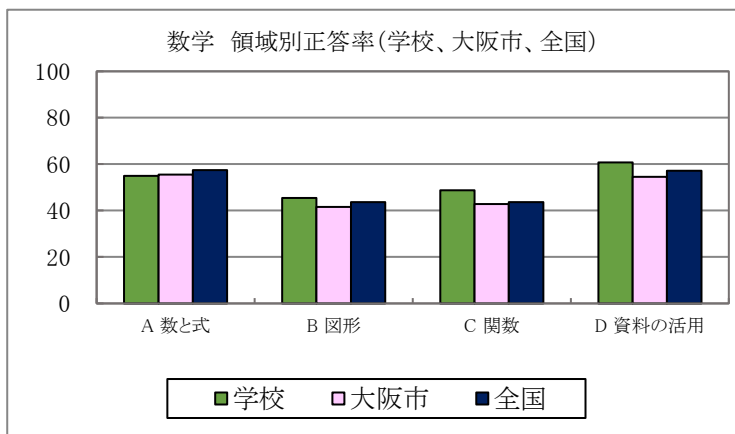
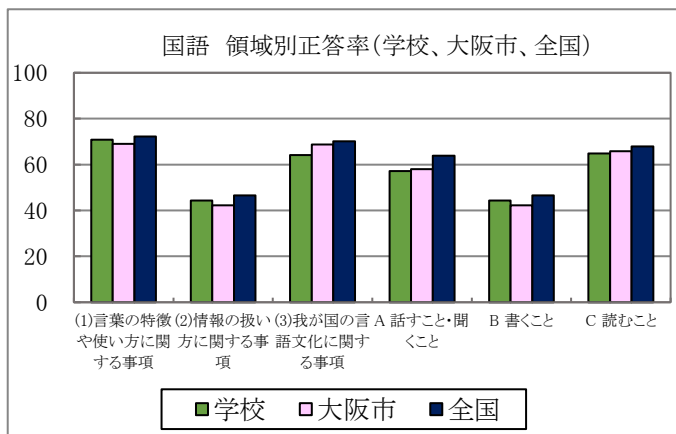


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	6	70.8	69.0	72.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	44.4	42.2	46.5
(3)我が国の言語文化に 関する事項	3	64.2	68.8	70.2
A 話すこと・聞くこと	3	57.2	58.0	63.9
B 書くこと	1	44.4	42.2	46.5
C 読むこと	2	64.8	65.8	67.9

【 数 学 】

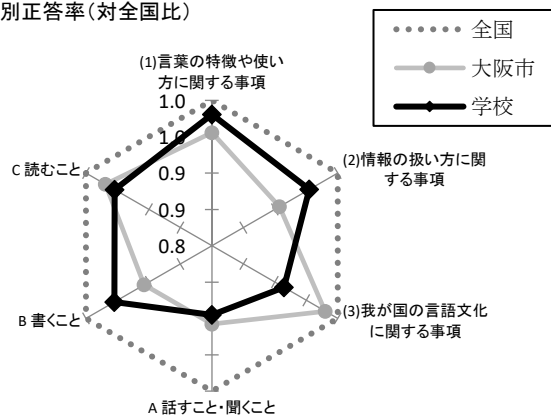
学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	55.0	55.5	57.4
B 図形	3	45.4	41.6	43.6
C 関数	3	48.8	42.8	43.6
D データの活用	3	60.8	54.5	57.1



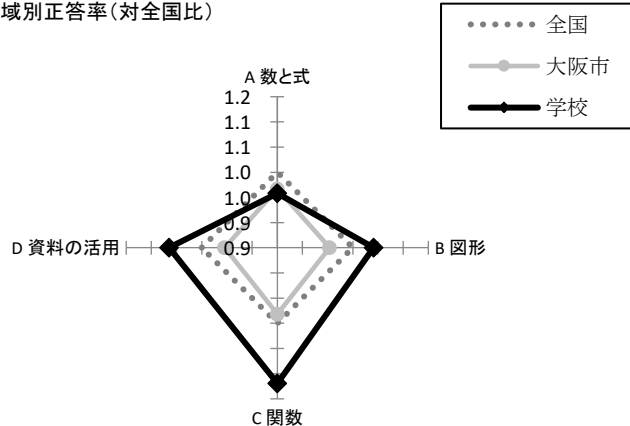
令和4年度 市岡東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

国語 領域別正答率(対全国比)



数学 領域別正答率(対全国比)

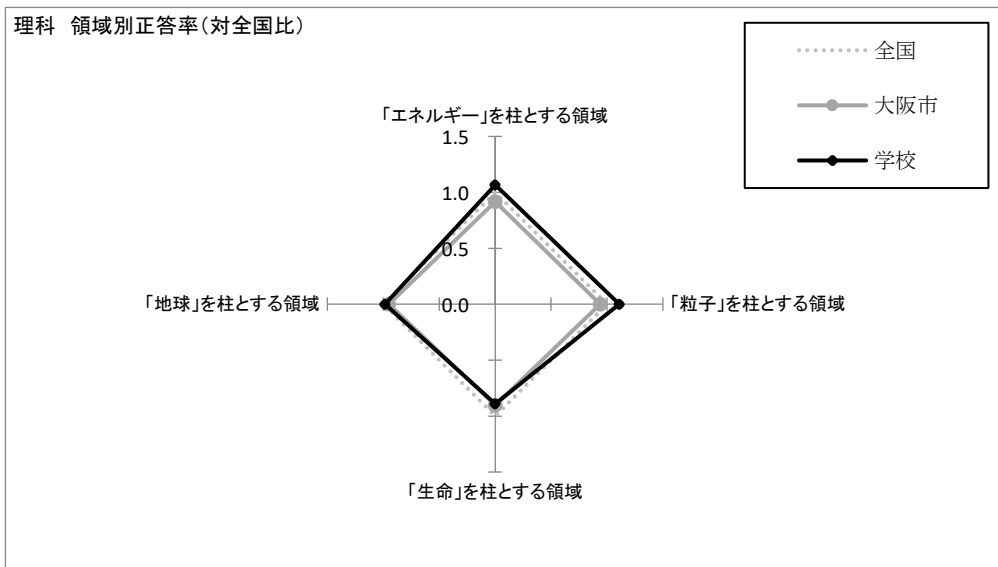
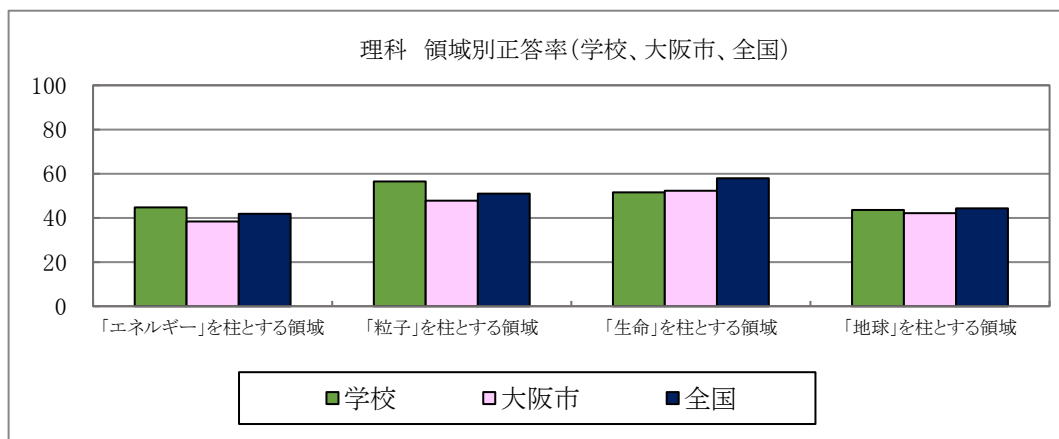


令和4年度 市岡東中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
「エネルギー」を 柱とする領域	6	44.7	38.4	41.9
「粒子」を柱とする 領域	5	56.5	47.8	50.9
「生命」を柱とする 領域	5	51.6	52.3	57.9
「地球」を柱とする 領域	6	43.6	42.1	44.3



令和4年度 市岡東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

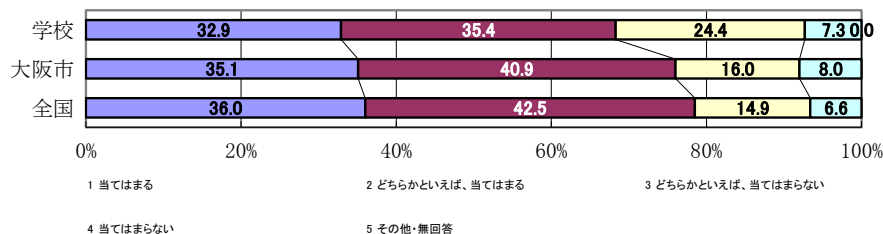
生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

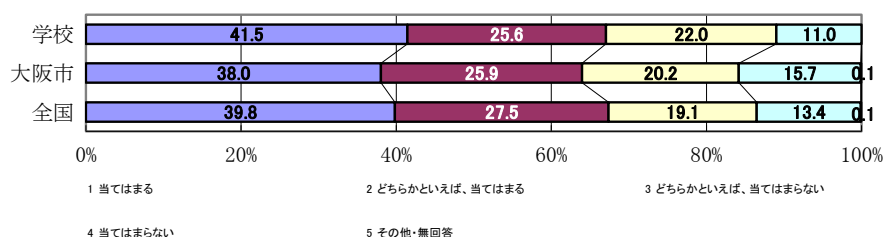
7

自分には、よいところがあると思いますか



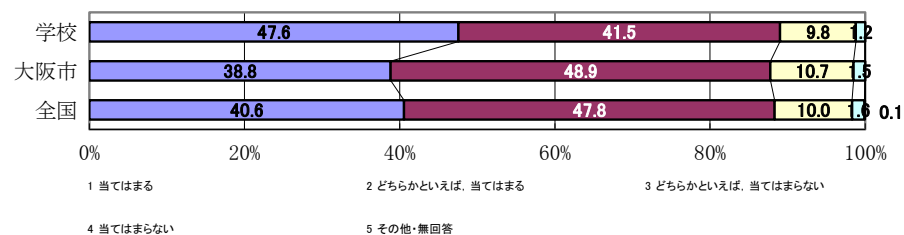
9

将来の夢や目標を持っていますか



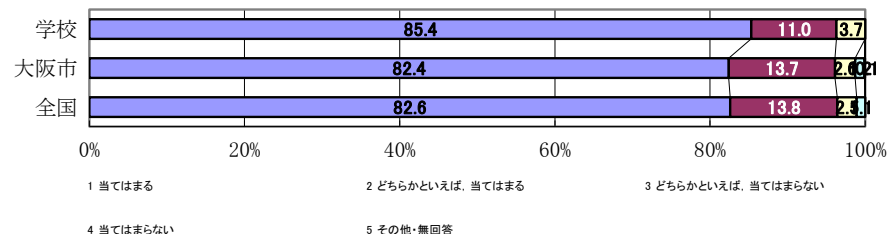
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



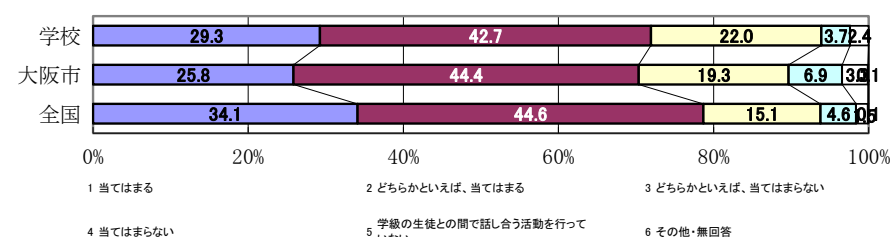
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



43

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



令和4年度 市岡東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

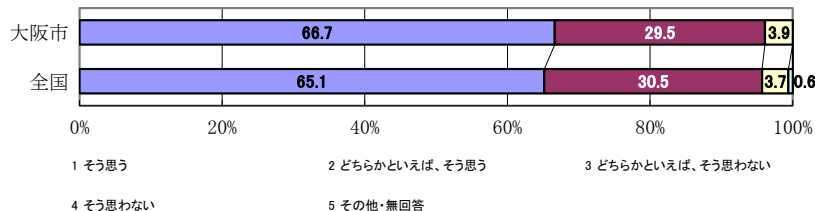
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

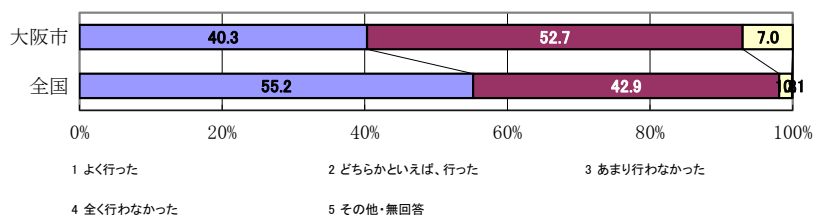
学校 「そう思う」を選択



10

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか

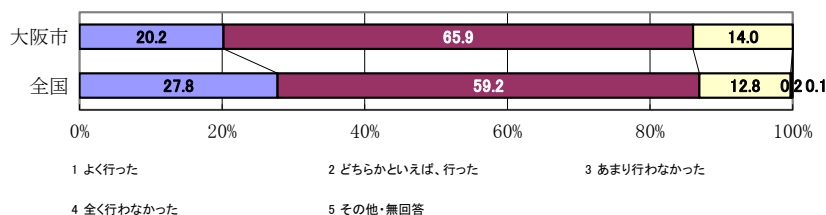
学校 「よく行った」を選択



29

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

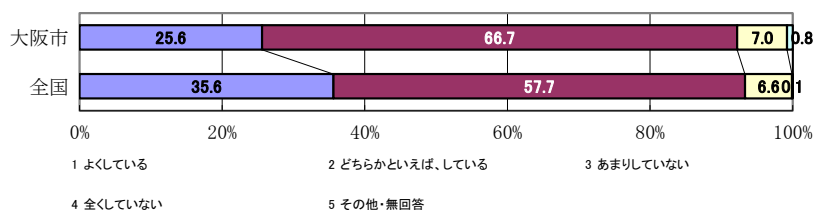
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



34

調査対象学年の生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



57

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

